

MS&C

株式会社 MS &amp; Consulting

2025年2月期 第2四半期

決算説明資料

## ✓ 業績

- 売上収益 682百万円 前年同四半期比7.4%増
- 営業利益 76百万円 前年同四半期比5.4%減  
※その他の営業損益の影響を除いた営業利益は前年同四半期比13.0%増

## ✓ 方針進捗

- MSRは今期の活動方針に「MSRの再構築」を掲げ取引拡大に傾注してきたことが功を奏し、前年同四半期比 通常調査10.5%増、海外関連調査29.7%増
  - 前年同四半期比 売上収益：13.1%増、受注：24.4%増
- 人的投資及びIT投資の継続により、労務費・減価償却費が上昇

## ✓ 業績予想

- 2025年2月期上期結果
  - 売上収益 1,109百万円 予想達成率91.5%
  - 親会社の所有者に帰属する当期利益 △24百万円 予想差異△26百万円
- 2025年2月期業績予想は達成の見込み

# 連結P/L(四半期比)

単位：百万円	2025年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比	2025年2月期 第1四半期	前四半期 差異	前四半期 比
売上収益	682	635	47	7.4%	427	256	59.9%
売上原価	△ 449	△ 409	△ 39	9.6%	△ 381	△ 68	17.8%
売上総利益	234	226	8	3.4%	46	188	411.3%
販管費	△ 156	△ 157	1	-0.7%	△ 173	17	-10.0%
その他の営業損益	△ 1	12	△ 13	—	4	△ 6	—
営業利益	76	81	△ 4	-5.4%	△ 123	200	—
EBITDA	102	101	1	0.9%	△ 96	199	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	49	52	△ 3	-6.2%	△ 73	122	—

## ✓ 前年同四半期比、売上収益7.4%増、売上総利益3.4%増、営業利益5.4%減

- 「MSRの再構築」を方針に掲げ取引拡大を図ったことでMSRは増加、SaaSも増加、コンサルは減少(増減要因はp4参照)
- その他の営業損益の影響を除いた営業利益は前年同四半期比13.0%増  
※前年は助成金収入等の営業外収入が発生
- 売上原価9.6%増、販管費0.7%減、以下が主な要因

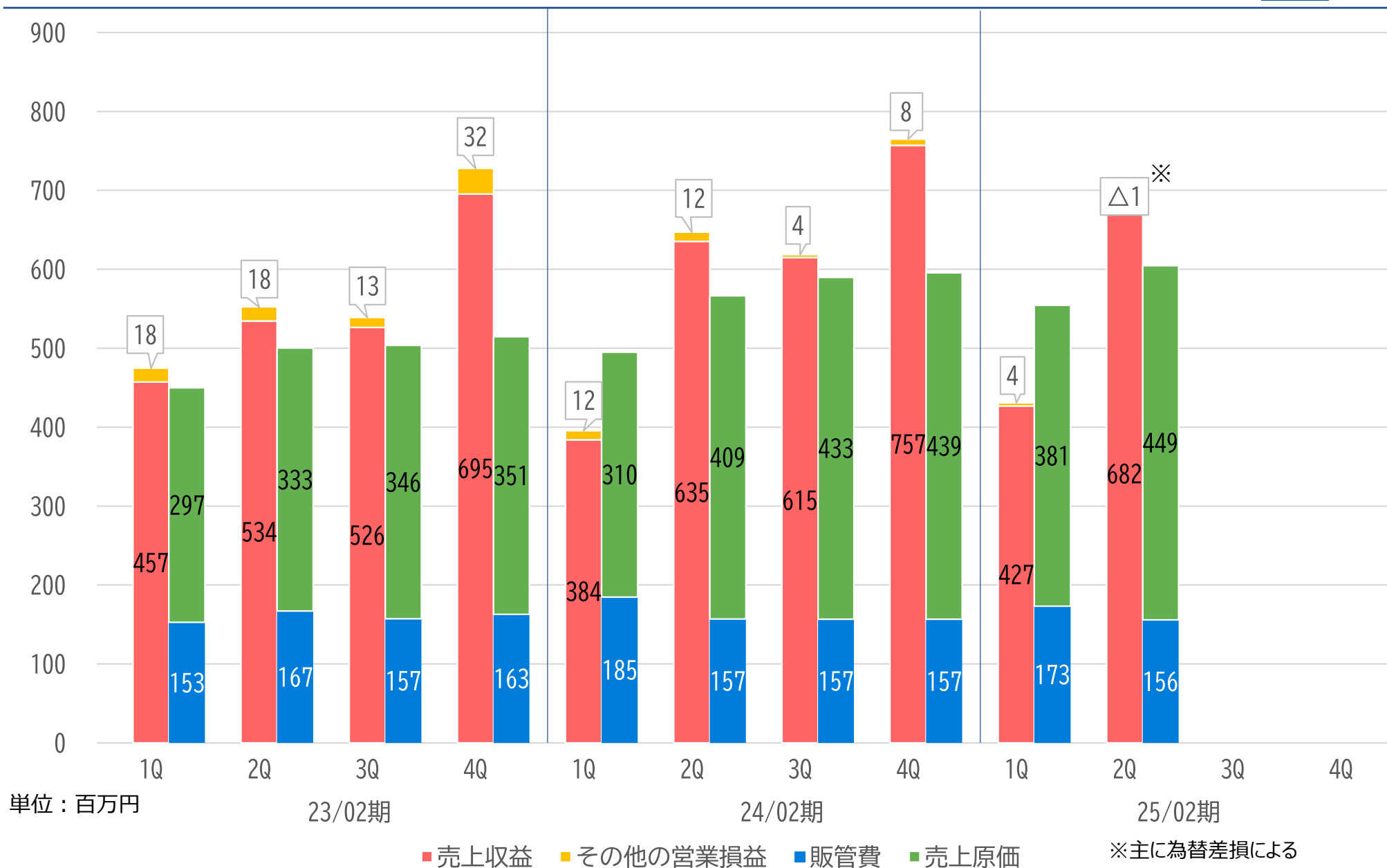
### 【売上原価】

- 人員増及び昇給に伴う労務費の増加、IT関連投資の拡大に伴う賃借料・減価償却費の増加 (+)
- MSRのレポート単価の上昇 (+)

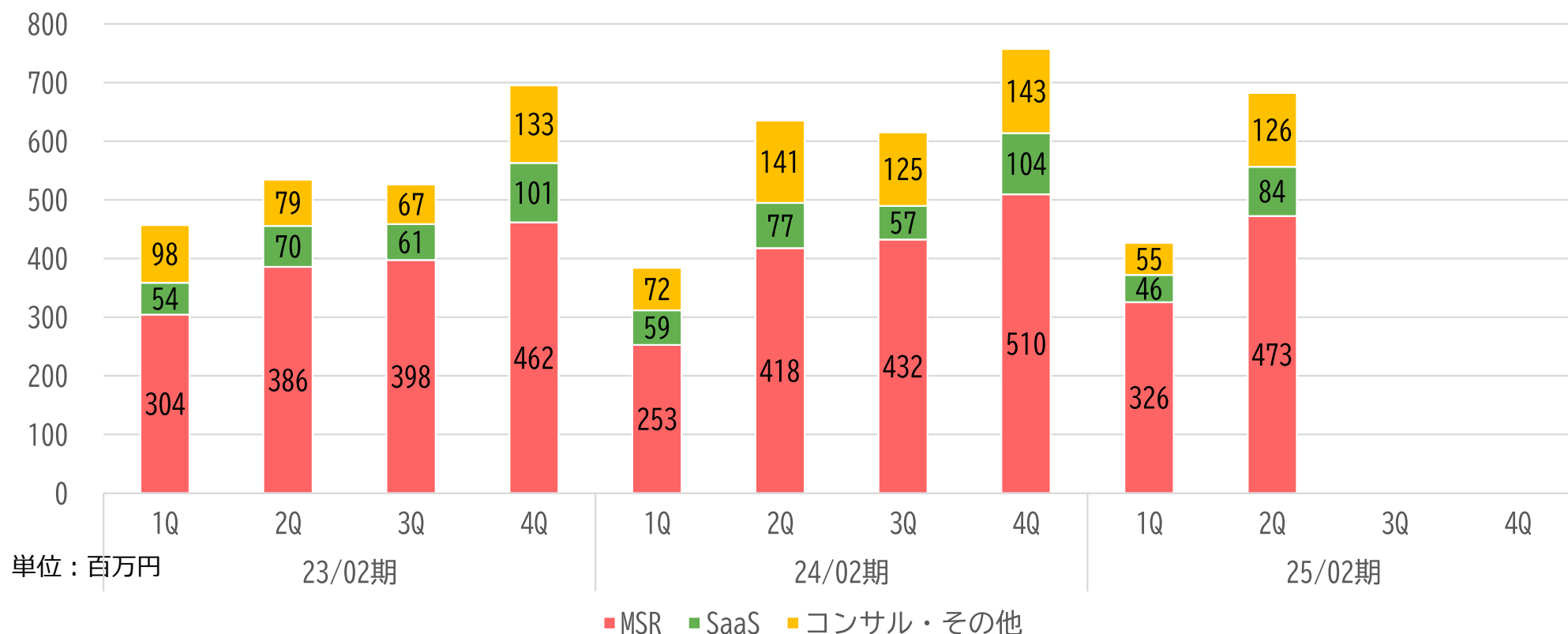
### 【販管費】

- 昇給に伴う人件費の増加 (+)
- 広告宣伝費の抑制、貸倒引当金繰入額の減少 (-)

# 連結P/L(四半期推移)



# 連結売上収益の内訳(四半期推移)



## ✓ MSRは前年同四半期比13.1%増

- MSRは今期の活動方針に「MSRの再構築」を掲げ取引拡大に傾注してきたことが功を奏し、前年同四半期比 通常調査10.5%増、海外関連調査29.7%増

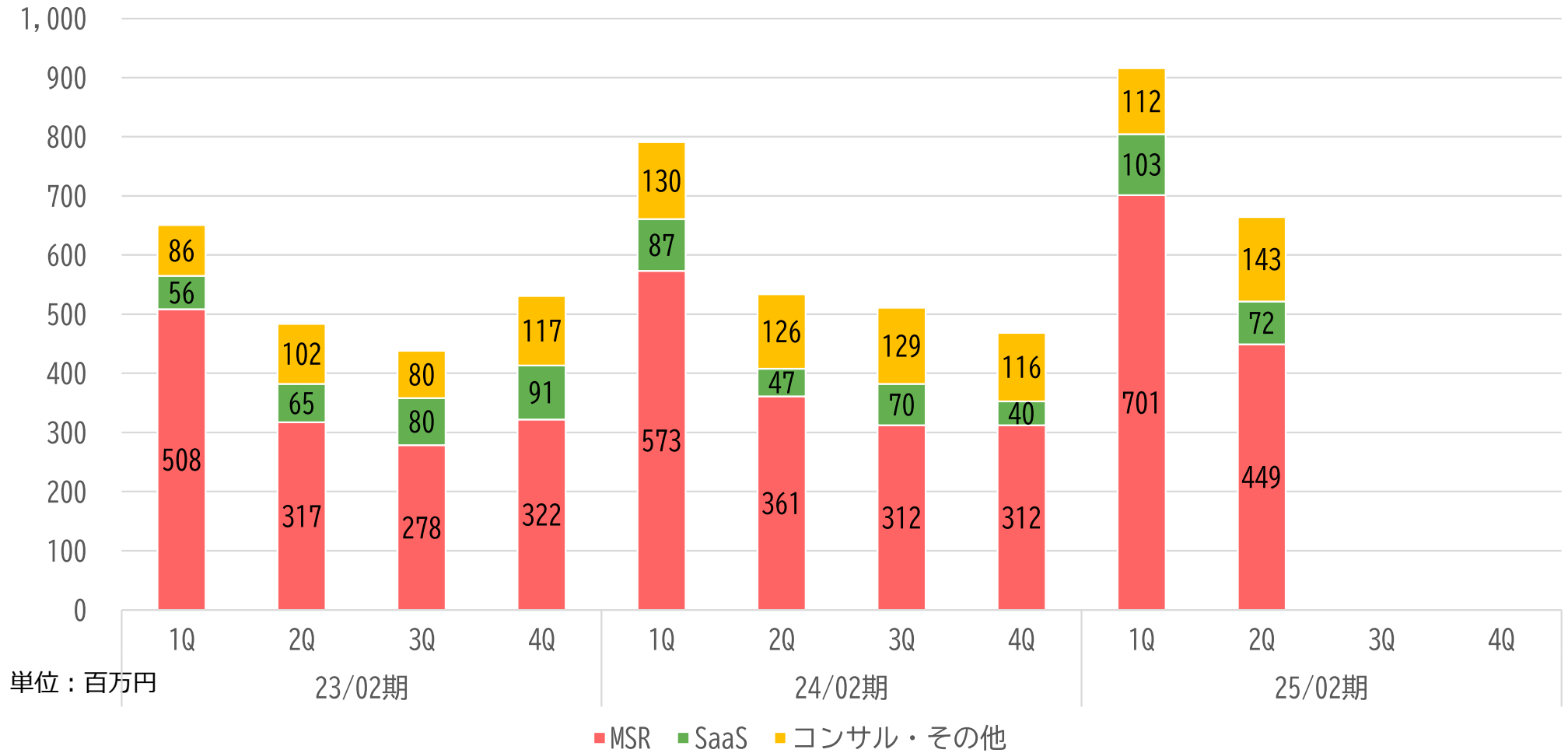
## ✓ SaaSは前年同四半期比9.2%増

- tenpoketチームアンケートが前年同四半期比60.3%増と牽引

## ✓ コンサルその他は前年同四半期比10.5%減

- 今年度の事業再構築補助金の第1回採択が10月以降と見込まれるため関連売上が減少

# 国内における受注高の推移



- ✓ 受注高は前年同四半期比24.4%増(MSR 24.4%増、SaaS 54.7%増、コンサルその他 13.3%増)
- ✓ 受注高は上期としては過去最高水準で着地

# 連結P/L(前年同期比、予想進捗・達成率)

単位：百万円	2025年2月期 第2四半期累計 (実績)	2024年2月期 第2四半期累計 (実績)	前期 差異	前期 比	2025年2月期 連結会計年度 (予想)	予想 差異	予想 進捗率	2025年2月期 第2四半期累計 (予想)	予想 差異	予想 達成率
売上収益	1,109	1,019	90	8.8%	2,729	△ 1,620	40.6%	1,211	△ 102	91.5%
売上原価	△ 830	△ 720	△ 110	15.3%	—	—	—	—	—	—
売上総利益	279	300	△ 20	-6.8%	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 329	△ 342	13	-3.7%	—	—	—	—	—	—
その他の営業損益	3	23	△ 21	-88.5%	—	—	—	—	—	—
営業利益	△ 47	△ 19	△ 28	—	271	△ 318	—	7	△ 54	—
EBITDA	6	24	△ 18	-75.0%	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 24	△ 13	△ 11	—	206	△ 229	—	2	△ 26	—

## ✓ 2025年2月期上期結果

- 売上収益は前年同期比8.8%増の1,109百万円、予想達成率91.5%  
売上収益の内訳は前年同期比MSR19.1%増、SaaS4.2%減、コンサル・その他15.1%減
- 売上原価15.3%増、販管費3.7%減のため、営業利益は前年同期差異28百万円減の△47百万円

## ✓ 2025年2月期業績予想は達成の見込み

- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は40.6%、  
2Qの実績に3Q期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は74.2%(充足額前年差異+219百万円)
- 次ページの取り組みにより、予想は達成の見込み

# 重点活動方針の進捗 | 1. MSRの再構築

## ① コロナ後のニーズ変化を捉えたマーケティングと提案による過去客との取引復活

✓ 上期クライアント数：766社（内、復活41社）

## ② 海外関連調査の拡大

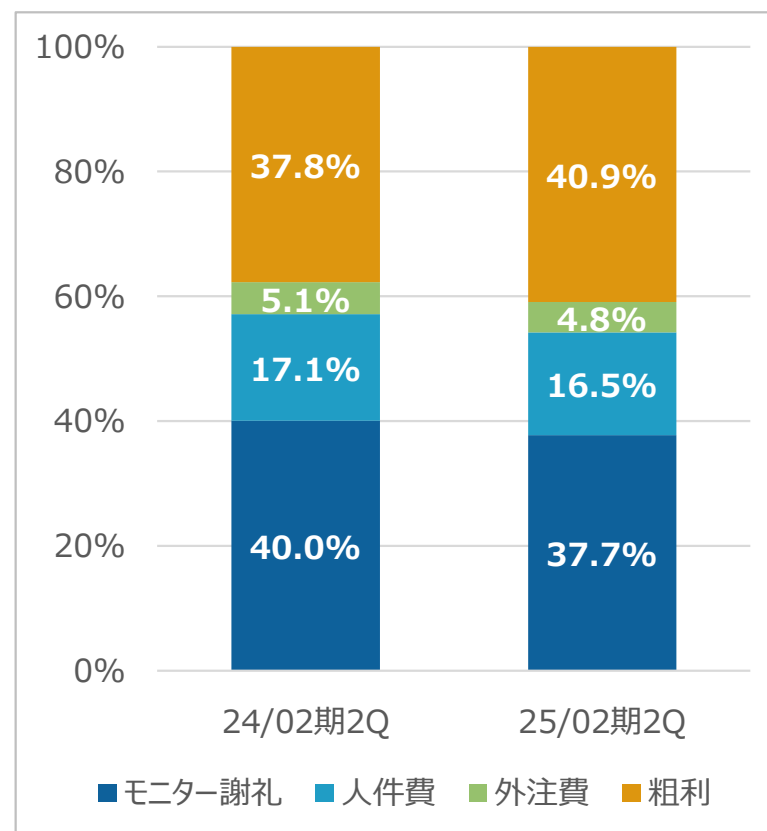
✓ 海外関連調査売上

- 2Q 77百万円（前年同四半期比29.7%増）
- 上期累計 131百万円（前年同期比37.8%増）

## ③ 顧客との交渉による販売単価の向上 モニターへの調査参加率向上による製造原価の低減

- ✓ 前年同期比で粗利率が3.1ポイント増
  - モニター謝礼が2.3ポイント減  
調査要件の緩和やモニターへの調査参加率向上施策が進んだことによる
  - 人件費が0.6ポイント減  
調査数の増加により固定費である人件費率が低減
- ✓ 顧客との交渉による販売単価の向上
  - 販売単価は前年同期比7.1%増
- ✓ その他生産性向上に向けた取り組み
  - レポートチェックへのAI活用
  - モニター向けサイトリニューアル(10月下旬予定)

MSRのコスト構造



※「重点活動方針」は、2024年4月8日開示の「2024年2月期決算説明資料」を参照



# 重点活動方針の進捗 | 2. 新規サービス開発への継続的投資

## ① 補助金・助成金関連

- ✓ 今年度の事業再構築補助金の第1回採択が10月以降と見込まれるため、上期の補助金・助成金関連売上が減少
- ✓ これまでの支援のノウハウを元にラインナップを拡充

- ・ 観光事業者による旅行者受入対応力強化支援事業補助金
- ・ 人材開発支援助成金
- ・ インバウンド対応力強化支援補助金
- ・ 小規模事業者持続化補助金
- ・ 中小企業生産性向上促進事業費補助金
- ・ ものづくり補助金
- ・ 中小企業等経営強化法（経営力向上計画）
- ・ かごしま中小企業DX推進事業費補助金
- ・ 新たな事業環境に即応した経営展開サポート事業補助金 等

## ② HR分野

- ✓ 有料職業紹介 当社独自の求職者の募集・フォローを開始  
<https://www.msandc.co.jp/lp/agent>

## ③ LBO（エルボ） ※LINEを利用した集客支援サービス

- ✓ IT導入補助金2024 のITツール登録を完了

## (前頁)モニター向けサイトリニューアル



※画面は開発中のものです

## 有料職業紹介ページ



## 資 産

単位：百万円	2025年2月期 第2四半期 (2024年8月31日)	2024年2月期 連結会計年度 (2024年2月29日)
現金及び 現金同等物	522	330
営業債権 及びその他の債権	436	541
流動資産合計	1,054	953
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,697	2,597
資産合計	3,751	3,550

## 負債及び資本

単位：百万円	2025年2月期 第2四半期 (2024年8月31日)	2024年2月期 連結会計年度 (2024年2月29日)
社債及び借入金	246	150
営業債務 及びその他の債務	567	501
流動負債合計	870	706
非流動負債合計	63	18
資本金	78	75
資本剰余金	2,041	2,038
自己株式	-359	-365
利益剰余金	1,115	1,139
資本合計	2,818	2,826
負債及び資本合計	3,751	3,550

- ✓ 2Q末のコミットメントライン契約に基づく短期借入の残高は200百万円
- ✓ 現金及び現金同等物の増減額については次ページ参照

単位：百万円	2025年2月期 第2四半期	2024年2月期 第2四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3	△ 101	97	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	△ 65	33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	138	△ 77	215	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	522	287	235	81.9%

## ✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前四半期利益76百万円の計上、営業債権の残高が146百万円減少、営業債務の残高が37百万円増加等したため、前年と比較して97百万円支出減となり、当期の営業活動によるキャッシュ・フローは3百万円の支出

## ✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- システム開発費用の支出32百万円、オフィス改装に係る什器備品購入による支出(前年28百万円)の未発生等により、前年と比較して33百万円の支出減となり、当期の投資活動によるキャッシュ・フローは32百万円の支出

## ✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 短期借入金146百万円の増加、自己株式の取得による支出(前年92百万円)の未発生等により、前年と比較して215百万円支出減・収入増となり、当期の財務活動によるキャッシュ・フローは138百万円の収入

## ● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRS(連結)の配当性向20%、日本基準(単体)の配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。
- ✓ また、中間配当及び期末配当の年2回の配当を実施する方針としております。

## ● 株主還元基本方針

- ✓ 上記配当の基本方針と合わせて自己株式の取得を進めて総還元性向を高めることを、株主還元の基本方針としております。

## ● 中間配当及び期末配当

- ✓ 2025年2月期の中間配当は1株当たり0円、期末配当予想は未定としております。

## 免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS & Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。